

# Dr. ダリル・レイモンド・ビーチ プロフィール



Dr.ダリル・レイモンド・ビーチ氏が、2000年春の叙勲で、勲三等瑞宝章を受章した。これは、同氏が長年にわたって我が国の臨床歯科研究者の指導及び、歯科診療体系の発展に貢献した功績によるもの。

ビーチ氏の歯科臨床における研究は、その天才的発想と精力的な活動により、水平位診療をSATV (Skill acquisition Transfer and Verification) など、ビーチシステムとして大成した。

ビーチ氏が考案した歯科医学教育における新教育方法や新しい診療体系は、我が国はもとより、米国ほか7カ国において、積極的に導入されている。また、グローバルな口腔保健活動として、WHO (世界保健機構) の口腔保健専門委員会委員、FDI (世界歯科連盟) 歯科診療委員会顧問などを歴任している。特筆すべきは、歯科医学教育と歯科臨床に必須の歯科診療ユニットの開発と、斬新な設計による診療所の配置と使用器械、器具における数多くの開発である。

ビーチ氏は、昭和27年以来、我が国に滞在し、歯科大学の教授として教育に従事し、学生の育成に当たった。一方、自らHPI研究所、APLO学会、OMU学会、システムロジック学会等の創設と学会活動を通じて、歯科臨床教育の充実と進歩発展に寄与している。このような学会活動と組織活動により、新しい歯科医学教育と歯科医療の研究者と指導者を育成し、これら5,000名に及ぶ研究者は各地で実際に活躍している。

ビーチ氏のこのような多方面の多岐にわたる真摯な活動が、我が国の歯科医学ならびに歯科医療の進歩のみならず、歯科学全般の教育と発展に、顕著な貢献となっている。

(「DENTAL MAGAZINE」99号紹介記事より)

●国 籍 アメリカ合衆国

●生年月日 1926年2月14日

●経 歴

1944～45年 米国キャロル大学、米国海軍V-12プログラム (将校養成課程)

BSプログラム (学士号) 取得

1946～47年 米国オレゴン州立大学卒業、化学及び心理学専攻、BS (学士号) 取得

1947～51年 米国オレゴン大学歯学部卒業、DMD取得

1958～64年 日本大学歯学部客員教授

1964年～ 東京医科歯科大学非常勤講師

1972年～ 韓国慶熙大学歯学部名誉教授

1975年～ フィリピン、オカンボ大学客員教授

1980～85年 九州大学歯学部非常勤講師

1984年～ 米国メリーランド大学歯学部客員教授

1997年～ 東京歯科大学非常勤講師

1995年～ 有限会社LANセンター開設

学術活動

1951～52年 米国オレゴン州ポーランドにて開業

1952～57年 横須賀米国海軍病院に口腔外科医として勤務、この間米国外務省の人材交流プログラム"ピープル・トゥ・ピープル・プログラム"により、日本をはじめアジア各国を回り、米国歯科診療の最新技術紹介・指導を担当する。

1962年 米国アラスカ州アンカレッジにて診療

1969年～ 原爆傷害調査委員会顧問

1969～94年 HPI研究所 (Human Performance & Informatics Institute) 創立 理事長。

国内外の歯科医師、大学関係者に歯科教育コースを提供する。

1970年代 システム・ロジック・コンgres主宰

1970～76年 世界歯科連盟FDI歯科診療委員会顧問

1983年～ APLO (Academy of Performance Logic for Oral Health) 名誉会長

1984～96年 世界保健機構 (WHO) 口腔保健専門委員会委員

1984年から実施されたタイ、チェンマイ州でのWHO地域口腔医療プロジェクトに独自に開発したシステム・ノウハウを全て無償供与し、全面的に協力する。

1984年 OMUアソシエーション、世界pdヘルスケアソサエティ理事

褒 賞

2000年 春の叙勲で勲三等瑞宝章受賞。



ビーチ先生の考え方や功績、APLO学会についての情報は下記のURLにアクセスしてください。

<http://www.aplo.net>